



## 迎春

養沢川の源流 大岳沢

大岳山に源を発する大岳沢は、細くとも清く美しく自然の姿のまま流れ続けています。大岳沢はやがて養沢神社のあたりで北から流れる御岳沢と合流して養沢川になります。そして、養沢川は落合で秋川に合流します。

あきる野百景が、市民の多くの皆さんから応募をいただいた中から決まりました（2・3面で紹介）。大岳沢も、あきる野百景の一つです。市では、郷土愛が深まり、誇りとなるこれらの環境を皆さんのご協力をいただきながら次世代に引き継いでいきます。

新年あけまして  
おめでとうございます



昨年中は、市政に対しまして皆様のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。協働のまちづくりをスローガンに掲げ、行政と市民がともに知恵を出し合い行動して、地域にとって、住む人にとって誇れるあきる野市にしたいと、懸命に取り組んだ年となりました。

安心して住めるまちづくりを目的に作られた各地域の防災・安心地域委員会は、市の職員による地域コミュニケーション支援隊との連携により、特色に合った活動をしています。すでに避難計画をまとめたり、防災訓練に参加して避難路の実証をする地域もあり、活動の発展に期待をしています。

職員も、地域に向いて協働した取り組みを経験し、課題に対応して成長しています。私も、副市長、教育長と市内6地区に出向き、町内会・自治会、防災・安心地域委員会それぞれ役員の皆さんと地域懇談会を開催して、市の財政状況や地域の課題などについて話し合いました。

地域の活性化に取り組んで進めてきた3つのプロジェクトも、それぞれの地区で活性化戦略委員会が組織され、郷土の森づくりやその土地に伝わる民話を掘り起こす五日市物語の準備、及び秋川・五日市駅前イルミネーションやイベントなど、新たな、そして継続的な活動を始めています。

管生の若宮の森で夏に行った子どもたちの里山探検がたいへん好評で、地域の方々の協力の結果と感謝しています。子どもたちの夢を育むため、郷土の恵みの森構想を練っています。10年先、50年先、100年先を見据えたもので、環境都市あきる野市のシンボルとして、今年度中にまとめ上げ、市内全域で展開して、皆様といっしょに取り組んでいきたいと考えています。

市の財政はまだ厳しく、行財政改革をさらに進めなければなりません。協働のまちづくりの精神が地域のコミュニケーションの再生にも貢献し、住民が主体となってこのまちを愛し運営できる未来が広がっていることを申し上げます。

本年が皆様にとりまして、より良き年でありませうように、心からご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、年頭の挨拶といたします。

あきる野市長 白井 孝